

## 「ワル」

ボケ：ちょっと相談したいことがあって

ツミ：何や？

ボケ：実はワルになろうと思って

ツミ：いきなり何言い出すねん どういう理由や

ボケ：だってワルい男の方がモテるやろ

ツミ：そういうのは中学とかせいぜい高校までの価値観やろ

ボケ：あと、足が早くなりたい

ツミ：足が早くてモテるんは小学生までや

ボケ：そういうわけでワルになって悪事を働くことになったから

ツミ：アカンに決まってるやろ 大体悪事って何するつもり？

ボケ：最終的には権力を手にしたいから、まず手始めにまんじゅうを買う

ツミ：なんで？

ボケ：権力を最短で手に入れるには賄賂がいるやろ そのためにまんじゅうの下に

現金詰めて渡すんじゃないか

ツミ：回りくどいな そういう悪代官と悪徳商人のやり取り時代劇であるけど

ボケ：ポチもワルよのう

ツミ：そちな 悪いポチはしつけされてない犬やから

ボケ：悪代官ってどこに行けば会えるんや？

ツミ：今はどこにもおらん

ボケ：じゃあ、このまんじゅうは誰に渡せばええんや？

ツミ：とりあえず自分の知ってる範囲で権力を持っている人に渡せばええんちゃうか

ボケ：ウチの場合やと権力持ってんのは親やから、親に渡すわ

ツミ：それは単なる親孝行や

ボケ：なんで？

ツミ：甘い物送られて喜んでるところにさらに現金まで渡されたら最高やないか

ボケ：やっぱり自分1人のアイデアでは限度があるな

ツミ：限界来るの早すぎやろ

ボケ：まあそういうこともあろうかと思って、実はすでに悪事を働くための

悪の組織を立ち上げたから

ツミ：どういう展開やねん

ボケ：実はつい先日、記念すべき第1回目の秘密会議を開催してきたから

ツミ：秘密会議やったら黙っとけ 大体会議で何の話すんねん

ボケ：悪だ くみ

ツミ：倅田來未の言い方すんな 悪だくみやろ

ボケ：まあ、その会議でいろいろあったから聞いてくれや

ツミ：しゃあない聞いたるわ

ボケ：まず、この悪の組織には幹部がおるわけやけど

ツミ：いきなり幹部出てきたけど、それって何人おるんや？

ボケ：全部で8人

ツミ：まあ、とりあえず集めたにしては上出来か

ボケ：ただの8人ちゃうぞ 最強の8人、いわば「第1四天王」と「第2四天王」や

ツミ：割るな 8人で1つの異名をつけろや

ボケ：「四天王」ってカッコええからどうしても使いたかったし

ツミ：じゃあ4人に絞れや

ボケ：4人やとちょっと自信がない

ツミ：悪の秘密組織は自信がなかったらやるな

ボケ：そんな事言うけど、4人やとシフト回らんねんけど

ツミ：交代制なんか エリア毎に支配してる奴が集まるんちゃうんか

ボケ：そんな人手不足やとブラック企業って言われるし

ツミ：悪の組織はブラック企業や 勤務時間は関係ない

ボケ：それでまあ会議をやるにあたって1個問題があって

ツミ：問題は1個どころやないと思うけど何や？

ボケ：自分としては他の幹部にも素顔は見せたくないわけや

ツミ：そういうパターンあるな フードや仮面で顔隠したり、声だけで指示出したり

ボケ：だから解決策として、会議の日は早起きして、しっかり目のメイクして

ツミ：「素顔を見せたくない」ってそういう意味なんか

ボケ：お気に入りの一着を用意して

ツミ：ウキウキお出かけモードやないか

ボケ：好きな服着てるだけ、悪いことしてないよ

ツミ：悪事を計画するんやろ 聞いたことある歌詞みたいなこと言うな

ボケ：ダイヤモンドだぜ

ツミ：「だぜ」やない ダイヤの強奪企んどるやないか

ボケ：それでまず会議をやるための会議室借りることになって

ツミ：自社物件ちゃうんか

ボケ：2階にある会議室を探して

ツミ：中途半端やな、悪者の秘密会議は最上階か地下深くやろ

ボケ：1階やとセキュリティ上の問題があるから

ツミ：1階にそんな危険あるか？

ボケ：アクセルとブレーキ踏み間違えた車が突っ込んでくるやろ

ツミ：たまにそういう事故あるけど用心しすぎやろ

ボケ：それが、会議の日に始まる直前に外でデカイ音がして見に行ったら  
建物に車が突っ込んでて

ツミ：危なかったな

ボケ：運転してた奴は無事みたいやったけどあわてて電話してたわ  
「秘密会議の出席遅れます」

ツミ：幹部の1人やったんか そんな奴なんで幹部に選んだんや

ボケ：確かに まず警察に電話すべきやし

ツミ：問題はそこちゃうやろ

ボケ：それでその幹部はクビにすることになったけど

ツミ：まあ1回そんなミスしたら次はないわな

ボケ：サッカーで言うところの一発レッド・カーペットや

ツミ：誇らしげに歩かせてどうすんねん レッドカードで退場ちゃうんか

ボケ：それで幹部に欠員出たからお前入るか？

ツミ：入るわけないやろ、もうええわ



ボケ：マイナンバーカード

ツミ：持って行ってどうすんねん

ボケ：知らんのか？マイナンバーカードでいろんな手続きができるんやで

ツミ：無人島に着いて何の手続きするつもりやねん

ボケ：そら 住民票移すやろ

ツミ：脱出諦めるんか

ボケ：そうだったらそうだったでしゃあないからな

ツミ：そもそも役所行かんとマイナンバーカードだけで住民票移すの無理やで

ボケ：じゃあとりあえず住民票発行して…空き瓶につめて海に流す

ツミ：手紙送れや 誰かが拾っても留守の家に連絡行だけやろ 本人は無人島やから

ボケ：あっそうか 無人島に1つだけ持っていけるとしたら「空き瓶」

ツミ：空で持ってこんでええやろ 中に何か入れて来いや 水とか

ボケ：空じゃなくてちゃんと空気入ってるから 水より空気の方が大事やろ

ツミ：空気は無人島にもあるやろ

ボケ：でも都会の空気は貴重やから

ツミ：逆や 都会で吸う自然のきれいな空気が値打ちがあるんやろ

ボケ：（ビンの空気吸ってしみじみ言う）都会の空気かー

ツミ：やっぱり都会に戻りたいんやないか

ボケ：しまった、ビンに貼る切手もいるな

ツミ：いらんやろ

ボケ：貼ってもどうせ海で剥がれるからな

ツミ：そういう問題ちゃうやろ

ボケ：よかった 切手代調べるのめんどくさかったから

ツミ：どうでもええわ

ボケ：うちわに書いた暑中見舞いよりは高いやろな

ツミ：ウケねらいの郵便物あるけど

ボケ：じゃあ仕方ない、自分が頑張ってる島を住みやすい環境に変えていく

ツミ：最初からそうせえ

ボケ：その第一歩として 選挙に出る

ツミ：「住みやすくする」方向がちゃうやろ

ボケ：「えー皆様、わたくしこの度、無人島から立候補いたしました…」

ツミ：選挙活動すんな

ボケ：やっぱり1つだけ持ち込むのは投票箱にするわ

ツミ：そんなんヤシの実くりぬいてなんとかせえ 選挙やったら投票用紙の方が大事やろ

ボケ：紙？そんなこともあろうかと 自分の住民票をプリントアウトしといたから

ツミ：最初から自分の名前書いてある紙はあかんやろ

ボケ：これで当選間違いなしや

ツミ：無人島で不正選挙すんな もうええわ

## 「水」

ボケ：最近つくづく思うけど、やっぱり東京の水って実家の水と比べたら不味いわ

ツミ：出身そんな田舎やったっけ？

ボケ：いや、ウォーターサーバー契約してたから

ツミ：住所関係ないやろ

ボケ：そうか、こっちでも契約すればええんか

ツミ：ウォーターサーバーって水のでっかいボトル配達してもらうやつやろ？

ボケ：大きくはない、小さい缶のやつ

ツミ：そんなんあんの？

ボケ：一番人気はみそ煮やけど飽きがこないのは水煮やな

ツミ：サバの水煮はサバウォーターって言わん なんやサバウォーターって

ボケ：大きいボトルは配達が届かんことがよくあるからな

ツミ：そうなん？

ボケ：水のボトル運んでるトラックは必ず犯人の車に激突されるから

ツミ：映画のカーチェイスではそんなシーンあるけど

そんないつも事故ってたら経営成り立たんやろ

ボケ：まあ、そういう商品は割れボトルで結構需要あるから

ツミ：割れせんべいみたいなお得感はないやろ

ボケ：どっちかというとな濡れせんべい

ツミ：水でしけたせんべい食わんやろ

ボケ：皆様にうるおいをお届けする 床しっとりの水

ツミ：こぼれてんねん 誰がそんな水店頭で選ぶか

ボケ：水事情を何も知らんのに偉そうに言うな

ツミ：何がや

ボケ：これは配送専門の商品やから店頭では取り扱いがないから

ツミ：知らんがな

ボケ：それにちゃんとボトル入れてる段ボール箱にもおことわり書いてあるから

ツミ：何を？

ボケ：箱がフニャフニャになっておりますので持ち方にご注意下さい

ツミ：水漏れ前提なんか 前もって注意書き印刷すんな

ボケ：なんだと 箱の持ち方に気をつけろ！

ツミ：口のきき方に気をつけろみたいに言うな

ボケ：でも消費者からは喜びの声が届いてるから

ツミ：そんな訳ないやろ

ボケ：おかげで床がピカピカに

ツミ：掃除用？飲んでええの？

ボケ：でも水の配達は便利やで、2リットル1本でも配達してくれるし

ツミ：1本単位の配達なんかやってるか？

ボケ：見た事あるやろ？よく民家の家の前にペットボトル置いてるやつ

ツミ：あれ猫よけや

ボケ：そうなん？マラソンしてる時、うっかり飲んでしもた

ツミ：置いてるとこ低いし重いし数足らんやろ

ボケ：量が多くて飲みきれんかったから名前書いてきた

ツミ：ペットボトルキープするな

ボケ：場所教えるからいつでも飲んでええで

ツミ：おごっつたらんわ

ボケ：いやー水は1日2ℓ飲むのがいいらしいけどさすがに飲みきれんかった

ツミ：いっぺんに飲む必要ないし、飲む以外でも食べ物にも水分含まれてるから

たとえば野菜とか きゅうりなんかは95%水分らしいし

ボケ：えっ きゅうり！（振り返って驚いてジャンプ）

ツミ：猫動画か

ボケ：俺、猫ちゃうで

ツミ：わかっつたらんわ

ボケ：信じてくれ、ペットボトル平気やったし

ツミ：人と猫の判別するためにペットボトル使ってないねん

そもそも人ん家のペットボトル勝手に飲むな

ボケ：これって犯罪？じゃあ刑務所行って臭い水飲むことになる？

ツミ：「臭い飯」は聞いたことあるけど「臭い水」ってなんやねん

ボケ：その時飲んだペットボトルの水とどっちが臭いんかな？

ツミ：ボトルのキャップ開けて「臭っ」て思ったのになんで飲むねん

ボケ：ペットボトルチャレンジやから

ツミ：違うわ 挑戦失敗して腹こわすやろ

ボケ：大丈夫、腹下した時はペットボトルの水かけて流すし

ツミ：犬の散歩で水かけて流すやつとちゃうねん

ボケ：マナー守ってるから



ツミ：犬・小はOKやけど人・大はアカンねん  
ボケ：そういえば水のブランドってどれも似たような名前が多いな  
ツミ：アルプス 富士山 六甲山とか有名な山の名前使ってるな  
ボケ：マウント取ってきてんのか？  
ツミ：意味が違う まあ有名な山の名前は出尽くして残ってないかな  
ボケ：じゃあ ピラミッドの水  
ツミ：カサカサで水のイメージないやろ  
ボケ：最高級の水やで なんせピラミッドの頂点の水やから  
ツミ：それは品質のランキングの例えやろ  
ボケ：真っ赤な水やし  
ツミ：図にしたらてっぺんの三角赤いけど 実物は赤くないから  
ボケ：水がスフィンクスの口からダバダバー  
ツミ：温泉みたいになっとるかな  
ボケ：いや、真っ赤な水がドバー  
ツミ：ダメージ受けとるんか 誰にやられてんねん  
ボケ：スフィンクスのボディーをバーン  
ツミ：あいつ腹ばいやろ どうやって殴ったんや  
        そんなんどうでもええねん そもそも水貯めるとこなんかないやろ  
ボケ：ピラミッドの屋上に丸いタンクがあるから  
ツミ：団地やないねんから 何のための水や  
ボケ：ミイラを水で戻す用  
ツミ：出汁とるな ミイラに巻いてある包帯 出汁パックの外袋ちゃうぞ  
ボケ：一晩じっくりかけて  
ツミ：味に深みを出すな  
ボケ：とにかく水は人間にとって重要やから  
ツミ：そんなん分かってるわ  
ボケ：だから住むところも大きな川の側がええな  
ツミ：古代人やないねんから 今さら文明を発展させたいんか  
ボケ：河川敷楽しいやろ ゴルフにバーベキュー 男のロマン  
ツミ：地元住民に迷惑かけてないか？ 夕方ニュースでモザイク入れられてそう  
ボケ：バーベキューのことなら心配するな じっくり両面焼くから  
ツミ：生焼けの心配してないわ  
ボケ：あと河川敷の思い出といえばタイマン

ツミ：それは犯罪やから

ボケ：リバーサイドのタイマン

ツミ：タワマンみたいに言うな

ボケ：懐かしいな 結局両者ノックアウトで引き分けやったな

ツミ：マンガでありがちなパターンやけど

ボケ：（後ろ向いて手を上に伸ばす）お前つえーな

ツミ：うつ伏せ真っすぐか そういう時は仰向け大の字やろ

ボケ：いや川の字

ツミ：1対1 やったら1人足らんやろ、もう1人誰や

ボケ：真ん中は人やない 棒

ツミ：凶器か！タイマンで卑怯なマネすんな

ボケ：どうしても勝ちたかったから

ツミ：エモノ持ち込んで相打ちは実質負けや

ボケ：勝ってたら川の水飲めたのに

ツミ：何の争いや ペットボトルの水でええやろ もうええわ

## 「ホラー映画」

ボケ：疑問に思った事があるんやけど、「ホラー映画」って何の意味があるんかな

ツミ：意味って、人気があるから何本も作られてるんやろ

ボケ：そもそもホラー映画っていうものを見た事ないからな

ツミ：ワンシーンぐらいはあるやろ、ジャパニーズホラーとか一時流行ってたし

ボケ：どういうやつ？

ツミ：有名なシーンやと、長い間使われていなかった古い井戸からなんか出てくるやつ

ボケ：なんかって、基準値を超えた大腸菌とか？

ツミ：検出すんな あるやろそういう井戸は だから使われてないねん

ボケ：（目の前で試験管振って覗く動作）

ツミ：試験管で水質検査すんな

ボケ：青が赤に変わったということは…「おかあさん」で酸性！

ツミ：リトマス紙の覚え方か、いちいちそんな思い出し方してる奴に調査を任すな

ボケ：でも飲料水以外なら使用して大丈夫です

ツミ：そこまでして不気味な井戸の水使いたいと思ってないねん

ボケ：トイレの端でホースつないでる蛇口から出てくる水です

ツミ：中水か 学校や施設のトイレにそういうのあるけど

そういう事やなくて、井戸から亡霊的な長い髪の女が出てくんねん

ボケ：髪の毛を洗うために？

ツミ：井戸の中では洗わんやろ

ボケ：まあよく考えたらそんな所では髪は洗わんか ドライヤーが無いしな

ツミ：そういう問題ちゃうやろ

ボケ：次に井戸から長い延長コードの女が

ツミ：どうにかしてドライヤー使おうとすんな

ボケ：じゃあ、おしゃれを諦めろって言うんか

ツミ：呪い優先にせえや とにかく井戸から女が出てくんねん

ボケ：青年海外協力隊が掘った井戸から女が…

ツミ：アフリカ？ 大事な井戸に入って何してくれてんねん

ボケ：大丈夫、タトゥーは入ってないから

ツミ：温泉ちゃうからそんな事は問題にしてないねん

ボケ：だってせつかく作ってもらった井戸やし、出来た以上出てくるんはしゃあないやろ

ツミ：そもそもジャパニーズホラーの話やったやろ

ボケ：アフリカにはアフリカの呪い方があるんやから日本流を押し付けるな

ツミ：どういう主張や

ボケ：その話は井戸が今時ないからピンとこないし、もっと身近で怖い話はないんか？

ツミ：じゃあ都市伝説的なやつで、例えば家に帰ってきたらベッドの下に男がいた話とか

ボケ：それは弟やろ

ツミ：2段ベッドの下とちゃうわ ベッドの下に入りこんでるねん

ボケ：そんなことしたら隠れてるのバレバレやろ

ツミ：そうか？

ボケ：だって隠れるためには元々ベッドの下にあったエロ本を全部出さなあかんから

ツミ：今時ベッドの下にエロ本隠すか、デジタルの時代やぞ

ボケ：じゃあUSBメモリーをベッドの下に

ツミ：他に隠し場所あるやろ小さいねんから

ボケ：帰ってきてUSBがベッド下から出されてたら誰か隠れてる証拠やな

ツミ：わざわざ出さんでも共存できるやろ

とにかく人を襲うためにベッドの下に隠れてチャンスを狙ってるんや

ボケ：そのためにはまず、ベッドの下にジャッキをかませてベッドを持ち上げて…

ツミ：入れるだけの高さないんか そこまでしてベッドの下に隠れるなや

ボケ：ベッドの4隅にジャッキを差し込んで…

ツミ：すごい慎重に安全対策してるやん

ボケ：ベッドの下敷きになる恐怖と戦いながら隠れる訳やからな

ツミ：襲う側の都合は知らん 怖かったらやめとけや

ボケ：ホラー映画にはスリルの要素が必要やから

ツミ：そっちに感情移入せんからいらんねん

ボケ：ベッドの下に入って、手にはスマホを持って

ツミ：それ、いるか？

ボケ：待ってる間ヒマやから

ツミ：待ち合わせ感覚か

ボケ：あと、サイトに「このマンションは事故物件です」という書き込みを

ツミ：先回りすんな 凶行まで待てるのか

ボケ：でも暗い所でスマホ見るのは目に悪いかな？

ツミ：やろうとしてることが悪いくせにそこを気にすんなや

ボケ：まあ、スマホ使うと明かりで隠れてるのがバレるからこれは止めとくか

ツミ：じゃあ最初から用意すんな

ボケ：知らん人の家やから wifi のパスワードも分からんしな

ツミ：それは自前のギガ使えや

ボケ：しょうがないからエロ本読んで待つか

ツミ：ベッドの下に絶対エロ本有る前提やめろ

ボケ：そしてベッドの下に隠れて……ゴホッゴホッ

ツミ：ホコリっぽいのは辛抱せえや

ボケ：掃除が出来てなかったのはベッドの下に隠れたことで  
ルンバが入って来れなかったせいやな

ツミ：結局自分のせいやろ 冷静に分析すんな

ボケ：なるほど、それでか一殺人鬼がよくマスクしてるのは

ツミ：襲う側のマスクは顔全部隠すやつや、ホッケーのマスクとか  
白い四角いマスクは付けてないやろ

ボケ：えー、まだ何百枚単位で残ってんねんけど

ツミ：まとめ買いしたからって使い道が違うやろ そいつ本当に人襲う気あんのか？

ボケ：そらそうや、準備万端やから ベッドの下に隠れて、手にはさすまたを持って

ツミ：逆や、そいつはさすまたされる側やろ なんて殺人鬼が傷つけまいという  
配慮すんねん、攻撃に適したアイテム選べや

ボケ：じゃあ、両手にメリケンサックを付けて、ベッドの下からバーン  
(両手を前に突き出す)

ツミ：攻撃がトリッキー過ぎるやろ

ボケ：でもマットレスがテンピュールみたいなやつやったら弾力で跳ね返されるかな  
ボヨヨーンって

ツミ：何の心配してんねん そんな隠れる前に確認しとけや

ボケ：えーじゃあどんな凶器を用意したらええんや？

ツミ：チェーンソーで襲ったりするのはあるけど

ボケ：それはアカンやろ、夜うるさいから近所迷惑や

ツミ：そこはわきまえとんのか

ボケ：回していいのは夜10時まで、朝は8時以降

ツミ：洗濯機やないねんから それやったら普通の刃物でええやろ

ボケ：でっかい斧とか？

ツミ：そうそう、そういうやつや

ボケ：じゃあ、両手には血まみれの金の斧と銀の斧を持って…

ツミ：正直者なんか!!斧両方貰えたってことは 殺人鬼やのに？

何があったらそんな事になるねん

ボケ：泉に血の付いた斧を放り込んだら神様が現れて

ツツミ：証拠隠滅しとったんか

ボケ：神様が、「お前の落としたのは金の斧か銀の斧か血のついた斧か」

ツツミ：どういう確認やねん

ボケ：「私が落としたのは3人襲って血のついた斧です」

ツツミ：そこまで言うてまうんか

ボケ：「正直者なので金の斧と銀の斧もやろう」

ツツミ：そうはならんやろ、神様も注意せえや

ボケ：「斧は水分をふき取って油を塗っておきなさい」

ツツミ：防サビの手入れのアドバイスすんな

ボケ：結局正直すぎて一回捕まったけど、

今度は取り調べで正直に自白したら今度は金のカツ丼と銀のカツ丼貰って

ツツミ：そんな丼ないやろ

ボケ：でも「金のカツ丼」って高級な卵使ってそうで良くない？

ツツミ：どうでもええわ

ボケ：「銀のカツ丼」は卵の白身だけを使用しています

ツツミ：マッチョ用なん？タンパク質は摂れるけど

ボケ：なんかホラー映画って面白そうやな、食わず嫌いやったわ

ツツミ：こんなんホラー映画ちゃうわ もうええわ